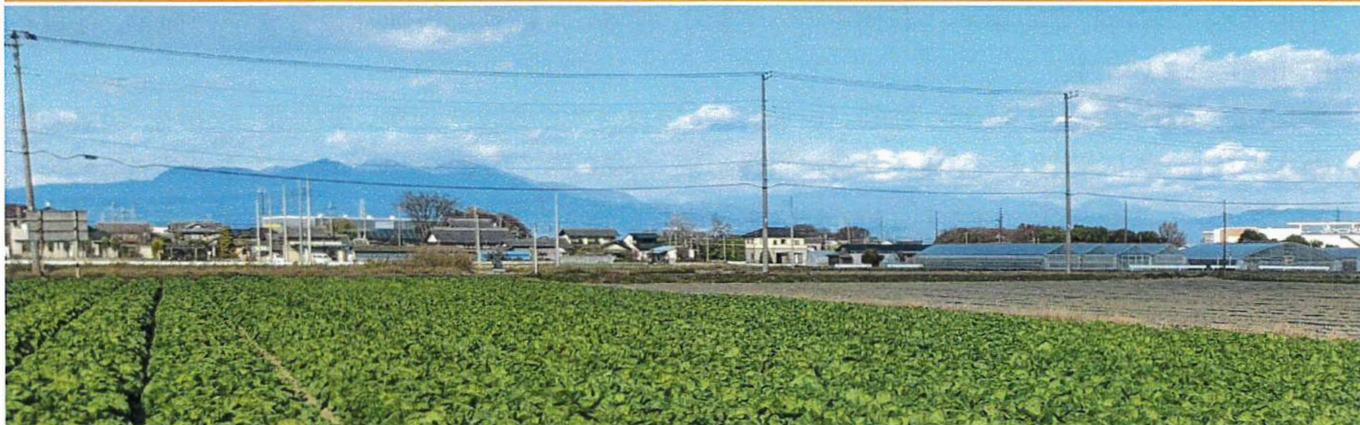


アグリ&ユニシス News

第2号

2022年3月



株式会社関東地区昔がえりの会様の白菜畑(2021年11月26日撮影)

昨年発刊しましたアグリ&ユニシスNewsの2号をお届けします。

新型コロナウイルスの影響はいまだ続いており、大変な状況ではありますが、本号が皆様のお仕事の一助になれば幸いです。

本年4月1日に社名を株式会社BIPROGYに変更します。

次号よりアグリ&BIPROGYNewsに変更になりますが、引き続き宜しくお願いします。

■発行担当者

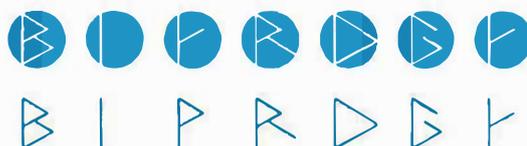
日本ユニシス株式会社
サービスイノベーション事業部
戦略ビジネス部 第2営業所
原田 淳範
TEL:050-3132-8486
e-mail:atsunori.harada@unisys.co.jp

■BIPROGYの由来について

BIPROGY は、光が屈折・反射した時に見える7色(Blue、Indigo、Purple、Red、Orange、Green、Yellow)の頭文字を使った造語です。

■シンボルマークについて

わたしたちの故郷である地球を想起させるブルーのサークルの中に「BIPROGY」を隠し文字として組み込んでいます。



1. 日本ユニシス ワクワクふぁーむの取組みについて

障がい者が農作業を通じて心身の健康と就労のやりがいを感じて楽しく仕事に取り組む活躍してもらうことを目的に、2020年8月屋外農園「日本ユニシス ワクワクふぁーむ」を開園しました。

埼玉県川越市にある広さ約 550 m²のパイプハウス型屋外農園です。障がい者就労支援事業を展開する企業の貸農園サービスと障がい者雇用コンサルティングサービスを利用し開園しました。

農場長(障がい者を管理する健常者)5名、障がい者15名(身体3名、知的5名、精神5名、発達2名)の計20名でスタートしました。作業を行うハウスは全30レーン(長さ約25m、幅約50cm/1レーン)であり、無農薬で野菜を栽培しています。

小松菜等の葉物野菜を中心に栽培を行っており、収穫した野菜は当社社員食堂での提供、社員への配布を行っています。

障がいのある社員の皆さんは、毎朝 10 時にマイクロバスで農園に到着。農場長と挨拶を交わし、揃いのユニフォームに着替え、全員でラジオ体操をし、ハウス内での朝礼というのが仕事前のルーティンです。障がいのある人は、その日によって心身の状態に差があることも少なくありません。そのため、社員の皆さんからの提案で設置した、その日の体調を示すパラメーターに自己申告をすることで、農場長は「今日はどの程度の作業が可能なのか」を一人ひとりのケアを含めて見極め、無理なく、効率的に働けるように作業内容を調整しています。

ワクワクふぁーむに入社された障がいのある社員一人一人に心配りをし、農作業を通じて就労のやりがいを感じながら働いていただき、社内研修などで農園を活用して一般社員としての交流を増やし、より一層のダイバーシティの推進を目指します。



収穫した野菜は虫や軽石を丁寧に取り除きコンテナに入れ、計量して箱詰めします。
右端の写真は冬瓜です。

2. お客様事例

▶ 長野県信用農業協同組合連合会様 効率的なスケジュール運用から始めた働き方改革の促進

長野県信用農業協同組合連合会様(以下信連様と記載します)では、職員のスケジュール管理を効率的に行うために当社も利用しているレコモット社の moconavi の活用を開始しました。

信連様では、職員のスケジュール管理を社内のグループウェアのシステムで行っており、営業活動などで外出している職員が自身のスケジュールを確認・更新する際は、社内の職員に電話して、システムにアクセスしてスケジュールの確認・更新を依頼する必要がありました。

そのような運用の中、moconavi を活用することで、予めシステムに登録していた職員のスマホから自分のスケジュールや他の職員のスケジュール確認が可能となり、ダブルブッキングなどの非効率な問題が解消され、社内の職員への確認依頼が不要になるなど効率的に職員がスケジュール管理を行うことができるようになりました。また、moconavi はスマホにデータが残らない仕組みであることや事前に許可されたスマホでないとアクセスできないなどの各種多様なセキュリティの対策を行っております。さらに、moconavi の活用により、外出先からスケジュール管理だけでなくメールの送受信や社外からのアクセスが認められているシステムの対応なども実現し、働き方改革を進めています。

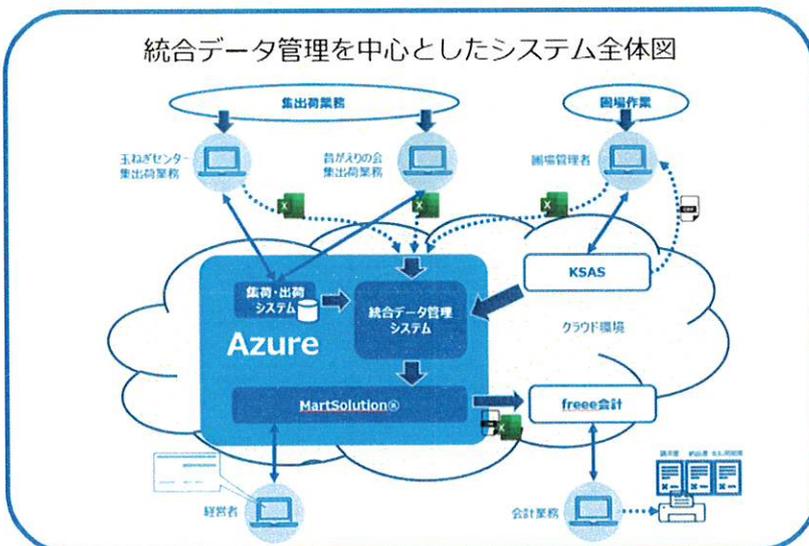


高いセキュリティと操作性で柔軟な働き方をサポート

▶ 株式会社関東地区昔がえりの会様 農業法人のDX化

株式会社関東地区昔がえりの会様は、関越道上里 SA 近辺の大規模農業法人であり、約80haの農地で外食産業の加工工場向けに青ネギ、玉ねぎ、キャベツ等の生産及び出荷を行っています。

従来市販の販売管理システムや Excel 等で売上管理、請求管理等を行ってきましたが、各種データが一元化されておらず、取引ごとの収支も良くわからず、タイムリーに経営指標を見ることが難しい状況でした。



今後の事業拡大を鑑み、当社と共にシステムのあるべき姿を整理し、経営管理DXとなる「統合データ管理システム」を構築し、2022年1月に稼働しました。

また、日々の入出荷業務の効率化と請求までを連動した「集出荷請求管理システム」を合わせて開発されました。

該社は近隣に食品加工施設を誘致し、スマートフードコンビニートの実現を目指しています。

当社は、大規模農業法人の経営管理のDX化を支援し、農業法人の経営基盤

の強化を図るとともに、地域と連携した新たな産地形成や6次産業化も支援していきます。

3. 当社サービスのご紹介

▶ 畜産農家の管理負荷軽減 < 耳標読取サービス(Ce-TiiM) >

牛はトレーサビリティのために、生まれた時に10桁のタグ(耳標)を取り付けます。

「耳標読取サービス(Ce-TiiM)」は、牛の耳標に記載の 10 桁を文字・バーコード・音声からスマホで読取り、10 桁に紐づく各種点検業務を現場でリアルタイムに登録・参照できるサービスです。



これまで紙への手書き運用によって生じていた誤入力や事務所との過剰な往復といった管理業務の労働負荷を軽減します。

2021年6月より全国酪農業協同組合連合会様でご利用いただいています。

本サービスを通じて長時間労働と呼ばれる畜産現場(全産業と比較して約 1.7 倍以上、1 カ月あたりの休暇は 1 日強)の管理業務の負荷軽減と共に、牛の各種情報を容易に蓄積できることで、データ利活用モデルへの展開による“食”の持続性向上を目指していきます。

4. 直売所関連ニュース

▶ お客様が売り場をみれるように < つながるファーマーズ ホームページ(HP)連携機能 >

直売所販売支援システムのつながるファーマーズの動体除去後の画像ですが、従来のスマホアプリでの表示の他に直売所のホームページ(HP)に表示させることが可能になりました。

お客様はスマホにつながるファーマーズのアプリを導入しなくても、HP を見れば売り場の様子が確認できます。

また、HP の店舗画像の URL を添付して直売所からお客様に LINE 等のメッセージを送ることで、お客様の照会率を上げて集客向上が図れます。

HP連携機能の追加費用は不要ですので、スマホのアプリからでも、直売所のHPからでも、売り場の様子を見ていただき、生産者の追加出荷やお客様の来店向上に役立てることができます。

